

**地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(地域公共交通調査等事業)**

令和7年2月28日

九州運輸局

評価対象事業名: 鉄道事業再構築実施計画策定業務

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における 二次評価結果	備考
		②事業 実施の 適切性	③計画策定等に向けた方針 又は事業の今後の改善点	評価結果	
くま川鉄道再生協議会	くま川鉄道(株)が令和2年7月豪雨からの全線復旧を目指すことを契機に、復旧後に鉄道事業再構築事業に基づく事業構造の変更(列車の運行をくま川鉄道(株)が担い、鉄道資産の維持管理を新法人が担う形態での上下分離)を行うことから、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律第23条に規定する「鉄道事業再構築実施計画」(以下、「計画」とする。)を策定するため、計画策定に伴う現状調査、需要予測及び費用便益分析等を行った。	A	調査結果を踏まえ、令和8年度上半期までにくま川鉄道の再構築を実施する。	委託事業者によるアンケート実施により将来の需要推計の実施をする等、再構築実施計画作成のために必要な調査結果が出されており、一定の効果が出たものと思料される。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(地域公共交通調査等事業)

令和7年2月28日

九州運輸局

評価対象事業名: 地域公共交通確保維持改善事業(地域公共交通再構築調査事業)

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における 二次評価結果	備考
		②事業 実施の 適切性	③計画策定等に向けた方針 又は事業の今後の改善点	評価結果	
肥薩おれんじ鉄道未来 戦略検討委員会	<p>【事業内容】</p> <p>○任意協議会開催, 現状分析に必要な調査等に要する経費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでに3回協議会を開催(6月, 8月, 11月) ・肥薩おれんじ鉄道の現状分析(データ・ファクトの整理)を行うため調査(委託)事業を実施。 <p>【主な調査(委託)結果】</p> <p>○遊休資産の活用及び施設等のスリム化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遊休地39カ所のうち売却益のある4カ所は, 今後売却, そのほか売却益が出ないものは貸付等の他の方策を検討 <p>○利用者の利便性の向上・駅舎の複合化, 二次交通との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二次交通は運転手不足等によりバス路線の調整は容易でないため, 地域毎に新たな手法の導入(ライドシェア, MaaS)を検討 	A	事業が計画に位置づけられたとおり, 適切に実施された。	協議会開催を経て、現状の課題や今後の取組の方向性についての整理、とりまとめが行われ、次の段階の協議会開催への基礎資料が作成されており、事業は適切に実施されている。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(地域公共交通調査等事業)

令和7年2月28日

九州運輸局

評価対象事業名:地域公共交通再構築調査事業

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における 二次評価結果	備考
		②事業 実施の 適切性	③計画策定等に向けた方針 又は事業の今後の改善点	評価結果	
JR肥薩線検討会議	<p>令和2年7月豪雨で被災したJR肥薩線について、令和5年度に策定した「JR肥薩線復興方針」及び「肥薩線のマイルール意識醸成による日常利用創出について」を踏まえ、国、県、地元12市町村、JR九州、関係団体等で構成する会議体で調査・検討の深度化を行い、「JR肥薩線復興アクションプラン(案)」を取りまとめている。 同プランの項目は以下のとおり。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. JR肥薩線復興アクションプラン策定の背景・目的 2. 具体施策(概要) 3. 具体施策(詳細) 4. 具体施策の実現イメージ 5. 具体施策の実現に向けた管理方法 6. 参考資料 	A	予定どおり事業が実施できている	委託事業者が調査・検討の深度化を行い、さらに会議体で出された意見を踏まえ一定の成果物が提出されており、適切に事業は実施された。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(地域公共交通調査等事業)

令和7年2月28日

九州運輸局

評価対象事業名: 地域公共交通確保維持改善事業(地域公共交通再構築調査事業)

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における 二次評価結果	備考
		②事業 実施の 適切性	③計画策定等に向けた方針 又は事業の今後の改善点	評価結果	
指宿枕崎線(指宿・枕崎間)の将来のあり方に関する検討会議	<p>○協議会の開催・運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R6.8.19 第1回検討会議開催 内容: 指宿枕崎線の現状, 沿線地域における取組状況等について ・年度内に第2回検討会議を開催予定 ・R6.10.8 商工関係者とのワークショップ開催 ・R6.10.28 沿線地域の高校生とのワークショップ開催 内容: 沿線地域の価値・魅力, 指宿枕崎線の価値・活かし方等 	A	適切に実施された。	持続可能性と利便性の高い地域公共交通への再構築を促進することを目的とした会議等の開催を行い、議論が進められていることから、一定の効果が出たと思料される。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(地域公共交通調査等事業)

令和7年2月28日

九州運輸局

評価対象事業名:地域公共交通再構築調査事業

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における 二次評価結果	備考
		②事業 実施の 適切性	③計画策定等に向けた方針 又は事業の今後の改善点	評価結果	
長崎県地域公共交通活性化協議会	<p>令和5年度の検討結果を踏まえ、再構築案の有効性、実現性等に関する追加調査を実施し、「島原半島地域の持続可能な地域公共交通」の維持・確保に係る今後の方向性や、沿線自治体の施策の方向性等を検討するにあたり必要となる事項を調査研究した。</p> <p>調査項目としては以下のとおり。</p> <p>(1)令和5年度調査結果に基づく再構築案(鉄道存続、バス転換)の有効性、実現性、事業効率化策の調査・検討</p> <p>① 島原鉄道線の設備投資・維持修繕計画の精査</p> <p>② 島原鉄道線と路線バスの運行効率化の検討</p> <p>③ 島原半島の路線バス運行内容の検討</p> <p>(2)収支計画(10年)及び自治体負担額の推計</p>	A	<p>これまでの調査結果や「島原鉄道活性化検討部会」における議論を踏まえた島原半島地域の持続可能な地域公共交通の維持・確保に向け、関係者が連携して取り組んでいく。</p>	<p>調査結果を深掘りし検討を行うことで、施策の方向性が見いだされたことから、一定の効果が出たものと思料される。</p>	

**地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(地域公共交通調査等事業)**

令和7年2月28日

九州運輸局

評価対象事業名:地域公共交通再構築調査事業

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における 二次評価結果	備考
		②事業 実施の 適切性	③計画策定等に向けた方針 又は事業の今後の改善点	評価結果	
平成筑豊鉄道沿線地域 公共交通協議会	平成筑豊鉄道沿線地域における交通ネットワークのあり方を検討するために必要な調査の内容について研究した。	A	令和7年度に必要な調査を実施し、計画策定の前提となる大きな方向性を決定する予定。	持続可能性と利便性の高い地域公共交通への再構築を促進することを目的とした会議の開催を行い、議論が進められていることから、一定の効果が出たと思料される。	